

ひやくさい

2019年(平成31年)1月発行 No.95

福岡県高齢者福祉生活協同組合

〒812-0025 福岡市博多区店屋町3-23

サカタビル2F

TEL(092)282-1431 FAX(092)282-1433

発行責任者:理事長 吉野 高幸

編集責任者:広報委員会

Email: ikiiki00@mba.sphere.ne.jp

ふくし生協

検索



ふくし生協創立20周年 新しい前進を切り開く年に！

理事長 吉野 高幸



皆さん明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

20周年の節目の年を迎えて

今年是我们大家的「ふくし生協」

が創立されて満20年という節目の年です。そこで20周年を記念して様々な行事・事業が予定されています。まず役職員の皆さん、組合員の皆さん方の記念行事・事業への参加とご協力をよろしくお願いたします。

前進の中で「壁」にぶつかった

昨年

ところで昨年は振り返って見ますと私たちの「ふくし生協」は、

経営面で新しい「壁」にぶつかったと言わなければなりません。というのは、今年度(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の経営成績は第一四半期(4月～6月)は赤字で好調な滑り出しでしたが、7月以降赤字の状態が続いているからです。

創立20年の蓄積した力で壁を乗り越え、新しい前進を切り開く年に！

私自身は「ふくし生協」に関わってまだ4年余りにしかありませんが、「ふくし生協」はこの20年で様々なことを経験し、様々な力を蓄えて来ていると思います。皆さん方一人ひとりの力を「ふくし生協」の新しい前進のために貸していただきたいと思っています。

現場の力を基礎に前進を

昨年の総代会での皆さんの生きとした発言は、現場の力を実感させるものでした。

私自身は現場の声に学ぶためにも、今年は事業所長会議を重視して参加したいと思っています。

組合員の皆さん、役職員の皆さん、事業所長の皆さんともに頑張りましょう！



▲東事業所第1もやい
デイサービスの皆さんの作品



～ふくし生協創立20周年～ 年頭にあって…

専務理事 稲月 秀雄

組合員の皆様、新年明けましておめでとうございます。私たちふくし生協は、本年3月には創立総会より20年が経過し、創立20周年を迎えることになります。私たちにとって大きな節目の年を迎えるにあたり、また、今後の展望も踏まえて一言ご挨拶いたします。

1999年3月13日、「組合員703人・出資金381万円」で創立総会を開催した私たちふくし生協は、「組合員約5,600人・出資金約4億2千万円」の規模に成長し、ゆるぎない大方針として掲げ続けた「24時間365日、在宅生活をとことん支える宅老所ケア」は、福岡県内各地で社会的な存在価値を発揮しつつあります。決して順風満帆ではありませんでしたが、次の5～10年に挑戦する体力を持つことができたことについて、組合員の皆様方と共に喜びあらためて感謝と御礼を申し上げます。

さて、2019年も次のような社会保障の動きを組合員の皆様と学習し、必要な準備を進めなければいけないと感じています。今後深めていきたい内容ですので、ご一読ください。

①本格的に始まった「負担増・サービス縮小」

昨年8月から実施されている一定所得者の3割負担や、昨年9月から推進されている混合介護の提供、合わせて、さらに混合介護の一体的提供を可能にするための豊島区モデル事業の動きは、私たちの経営方針そのものに直結する大きな改悪です。このような介護保険制度サービスを縮小し、制度外サービスを広げる動きは、介護難民を生み出す危惧を持たざるを得ません。

②地域に丸投げされる「認知症のケア」

昨年4月からの老計10号改正は、「自立生活の維持」に関連する支援が身体介護に位置づけられることが明確化され、一見朗報のように捉えがちです。しかし、これは訪問介護事業における生活援助サービスの廃止に向けた布石と見るべきです。大牟田市がモデル事業として取り組んできた認知症コミュニティケア推進事業や久留米市が初めて導入した認知症賠償保険という動きと関連づけて考えれば、まさに地域に「認知症ケア」を丸投げしていく方向性が見えます。

このように大きく変化する見通しの社会保障情勢について共に学習し、共に地域の課題を出し合い、共に解決の道を探りだしていきましょう。

【理事会からのお知らせ】

昨年9月度理事会において、（稲月専務理事が日本高齢者生活協同組合連合会の専務理事を兼務していることから）稲月専務理事不在時の対応を強化するために、専務理事代行職を本部事務局に配置すること、及び、その職責者として清水京子常務理事を充てることを決定していました。

関係各位との調整等を進めていただき、清水京子常務理事が本年1月1日付で本部事務局に異動し、専務理事代行職として着任したことをお知らせします。

「いつも笑顔を 忘れずに」

監事 竹元 美恵子



▽私と福祉生協とのかかわりは、介護保険制度が施行された時、私は事務の現場から介護

の現場(居宅支援事業所)に異動となり、数か所の訪問看護ステーションを訪問し、請求業務、窓口現金の管理などをしていました。また、窓口に来た入院患者さんの相談をケアマネジャーに繋ぐこともしていました。時を同じにして、「ぬくもり」がヘルパーステーションを立ち上げました。「ぬくもり」の所長、清水さんとは40年来の友人です。

▽病棟からの依頼での入院患者様、大腸癌末期(ストーマを装着)でどうしても家に帰りたい、と強い希望があり、帰してあげたいとの相談でした。7月の暑いなか、自宅は冷房もあります。自宅で過ごさせるために、まず、自宅の掃除です。その時頑張ってもらったのが「ぬくも

り」のヘルパーさん達です。冷蔵庫を開けるとゴキブリの大量が出てきます。はじめてヘルパーの仕事をしたかたもいたと思います。トタン張りの家だからすぐ暑く、保護課に

冷房をつけてほしいと頼みにいきましたが、贅品だから、つけることはできない、遠方にいる息子さんから冷房をつけてもらおうと収入とみなし、保護費を削ると言われました。

患者さまは、暑くても自宅に帰りたいと、強い希望を受け入れ、ヘルパーさんが毎日、病棟に行き大量の水をもらい、その水で部屋を冷やすことをして、朝、昼の気温を測ってもらい、再度、保護課に行き、交渉をしましたが、だめでした。ある日、女子寮に使っていないクーラーがあると連絡があり、そのクーラーをつけてもらうことにしました。購入ではないので、保護費は削られることはありませんでした。

▽私は介護の現場の仕事は2年間でしたが、異動が決まった時は、また、この現場に戻りたいと思っていました。そのあとは、診療所の事務長として、定年退職まで、3か所の診療所を回りました。診療所に行つて私は、1年間は受付をしながら、

ひとりひとりの患者さまを知ることを中心に仕事をしていました。生活背景もわかるし、信頼関係もできま

す。これは、私が介護の現場で経験したことでした。

▽定年後は、NPO法人の介護事業所の事務長として管理業務だけではなく、高齢者住宅建設、デイサービス、ヘルパーステーション新規開設などに関わってきました。ヘルパーさんから「ヘルプ」と声が係ると駆けつけてもいきました。ヘルパーさん達の仕事に、私は頭が下がるという話していました。どんな、困難な中でも笑顔を忘れず、耳を傾ける、自信を持ってヘルパーの仕事をしてほしいと思います。

▽65歳で仕事を終え、ボランティアに精をだしました。高齢者の集いの場、本当に楽しかった思い出でした。孫の世話をしながら、自分が認知症にならないために、コーラス(バルト3国にいき2ヶ所で公演)、ピアノの練習、鍵盤ハーモニカの練習、太極拳など、趣味に走っています。誰もが人として生活できるそれが目標です。「監事」の経験はありませんが二人の監事の先生方に指導を受けながら頑張っています。

ふくし生協直方フェスタ

世界最高の北欧の福祉をさぐる
(福祉国家ノルウェーの高齢者サービス)

講師 女性政策研究家
三井マリ子 氏

日時 2019年1月27日(日)
13:00~16:00

会場 直方中央公民館 大会議室

「おせち料理」注文に感謝

—— あけまして おめでとう ございます ——

旧年中は、当給食センターの弁当をご利用いただきまして誠にありがとうございました。また、年末には恒例となっておりますお正月用「おせち」もご予約注文いただきまして重ねて御礼申し上げます。

本年も職員一同、頑張っています。お引立ての程よろしく願います。

(給食センター職員一同)

シリーズ

「憲法とわたしたち」

No. 9

年金切り下げは憲法25条違反

「最低年金制度を」

年金者組合宣伝に10年参加

——「みなさん、11時ですがおはようございます。私たちは、高齢になっても安心して生活ができ、子や孫に戦争する国を残さない、そんな思いで活動しています年金者組合福岡東支部のものです。毎月25日にこの場所で最低賃金制度の訴えと国会への請願署名をとり組んでいます。これまでのご協力に感謝し、さらにご支援ご協力をお願いするものです。」

さて、『年金の支給を2か月ごとでなく毎月にしてほしい』願いは、多くの人の願いです。その願いを実現しよう、年金者組合では国に要請しています。厚生労働省は、『膨大な人件費がある、自治体も強く求めていない』などといった動きません。しかし、福岡市を含む全国の政令市市長会では、毎月支給の要望書

を出しています。私たちは、福岡市議会にも請願をしましたが、全会派から紹介議員になってもらえませんでした。趣旨は賛成だそうなので、みなさんが応援されている議員に、働きかけをぜひお願いします。」

1兆円ものジェット機買うより

社会福祉に国家予算を！

「みなさん、年金が削減されているのに、黙っていいいでしょ。年金はお上からの授かりではありません、私たちの基本的権利です。政府は『年金100年維持するため』とか、若い人に膨大な負担をかける『など理由をつけ、どんどん減額することに必死になっています。平成25年から3年間で25%削減されたのは、10年前下がった物価にあわせて引き下げなかったので、遡って減額したのです。高価格品の物価は下がったが、日常生活の物価は下がっ

ていないのに、政府の勝手な都合で削減したのです。これって可笑しいと思いませんか。さらに、新たな理由として、舌をかみそうな「マクロケイザイシステム」の導入は、長い年数かけて毎年減額するものです。これは、勝手な理屈で私たちの権利を侵害するものではないでしょうか。

私たちは、『高齢者も若い人も安心できる年金制度』を求めて、年金切り下げ憲法違反の裁判を3年前に始めました。現在全国で43都道府県、50000人超の人が原告となっています。福岡県でも137名が原告です。この集団裁判は、社会保障裁判では史上最大です。マスコミでは余り報道されませんが、生活保護を始めとする社会保障の改悪を止めるだけでなく、貧困と格差をなくす歴史的な意義を持っています。憲法25条には、『国は社会保障・社会福祉の充実に努めなければならない』と規定しています。政府の都合や裁量で勝手に切り下げることが憲法違反なのです。『憲法は、絵に描いた餅ではありません 実現していくも

の』ではないでしょうか。一機何百億円もするジェット機を買うことに必死にならずに、国民のくらし、福祉、医療、介護、教育などを充実することが求められているのではないのでしょうか。私たち年金者組合は、年金裁判を通じて、主権者であるみなさんと共に歩みたいと思います。ぜひ、国会への請願署名にご協力ください」——

以上は、昨年11月に福岡市東区香椎でマイク宣伝したものです。12月9日の障害者の日には、障害者の生活と権利を守る福岡県連絡会のメンバーと「障害者が65歳になると福祉サービスが引き下げられる法律の廃止」を求めて、天神で月例宣伝をしました。この他各団体、個人が県内各地で、憲法25条の実現を求めて、運動を展開しています。この運動が今以上に大きな共同行動となり、地域統一戦線的な大運動になることを心から願っています。

くさかべ やすひさ
日下部 恭久

(ふくし生協組合員・)

九条の会福岡県連絡会)

シリーズ 人生の高齢期を考える 今、幸せですか。

No. 39

1968年は明治100年と言われた年でした。筆者はこの年高校を卒業し上京しました。69年は東大安田講堂の機動隊との衝突。翌年は70年安保、全共闘のデモやアジ演説。その渦中において学校の半年間のロックアウトも経験しました。労組・学生運動が激しく燃え上がった最後の時代でした。野党にも勢いがありました。卒業の年には沖繩が返還されました。そういう時代から50年が経った昨年2018年は明治150年だったのです。

山田洋次監督が寅さんの出ない寅さん映画を製作しているそうです。監督はこの映画で、現代の日本人はだれもが幸せそうではない、だから「あなたは今幸せですか」と問いたかったと話していました。

日本の差別性が問われているような
昨年12月には2つの重要な法案が強行成立されました。

出入国管理法改正案(外国人受け入れ拡大法案)は、建設や農漁業や介護などの現場労働者が足りない

と、外国人労働者の導入を積極的に
行う法案です。どっと外国人が労働者として入ってきます。労働者不足は主に地方と中小企業ですから、我が家のお隣さんになるかもしれない。もし、そうになったらよい近所づきあいをしたいものですが、実態は、日本人を非正規・低賃金の海に沈め、まだまだ低賃金労働者が足りない、外国人(アジア人)までこの海に放り込むというのです。現代の徴用工問題ですね。これを経済界においてはグローバル化というのです。

**市民にとって、公営・民営どちらが
いいの**

水はタダと言われる日本。水道法改正案(水道事業民営化法案)により、我が家にも井戸を掘らなければならない事態が始まるのでしょうか。本州からの送水管(大島大橋)破壊事故で1か月以上も水道水のない生活を強いられた周防大島町の状況を見たとき、生活水を一本の水道管だけに頼ることの脆弱さを再認識しました。

命につながる水道管を民間企業に

手渡しても良いようにする法案です。すでに民営化をしてきた多くの国が水道代の高騰など問題ありと元の公営に戻そうとしているときに、民営化を進めるといいます。当然外国の水道大企業が何らかの形で参入してくるでしょう。外堀を埋めて攻め込まれ落城した大阪城のようになるのでしょうか。すでに、井戸水を「ミネラルウォーター」と名付ければ何倍の価格で買ってしまう消費者という役割に落ちてしまった国民ですもの。

だからと言って、公営が良いというわけでもないように思います。消えた年金やグリンピアなどの無駄遣い、もりかけ問題、居酒屋タクシーなど税金を私物化するような役人がありますからね。しかし、水道事業は市町村の独自事業ですから、過疎化で財政的にも相当負担となっている

だろうことも身近な問題として理解できます。といって、自治体の財政が十分に透明化、民主化されて市民の監視が効いているわけでもありませんから、地方には地方の利権が動くのではないかと思います。ゴーン氏のようにトップが逮捕されることもあるのだから、民間の方がまだましかな? 友達に90億円の土地を提供しても公文書をごまかしても、総理大臣以下だれも逮捕されないのだから。いっそ市民出資の協同組合事業としてはどうか。

今、幸せかと問おう

昨秋、初めて松山・高知を旅行しました。道後温泉の正岡子規記念館には多くの資料が展示され時の経つのを忘れました。中国人などアジアの観光客がメモを取りながら熱心に見学している光景も印象的でした。

高知の桂浜でも、大勢のアジア人旅行者が坂本龍馬像を訪れていました。あまりに美化された近代の、維新のヒーローは足下のアジアの人びとを睥睨していましたが、「あんたの構想した国の姿になったかね。どう思うのか」と聞いてみたい気持ちになりました。

せっかく長生きできるのでしたら、あの人たちが何を言いつたか、しっかりと見聴きして、同時代の批判者、証言者になりたいものです。

筆者も、「50年前、これが求めていた幸せか」と問う視線を大切に、明治151年の古稀の新年を迎えたいと思います。

(次号に続く)
(記・吉野道利)

「ほのぼの村」の飛躍の年に！

(けいちく事業所)

所長代行 鬼松二生

新年あけましておめでとうござい
ます。

平成としての正月は最後となりました。個人的には旧年中様々な出来事もあり、あわただしい一年だったような気もしますが、今年は年号も変わる年ということもあり、新しい気持ちで頑張っていこうと思います。けいちく事業所でも、出会いや別れを繰り返しながらほのぼの村宣言の具体化に向け、大きく前進できる飛躍の年に出来るよう職員一同決意を持って臨んでまいります。

ややくて強いひまわり目指して

(ひまわり事業所)

所長 稲月昌子

新年あけましておめでとうござい
ます。今年は、かけがえのないものを
失い、大きな課題を抱えたままの年
明けとなりました。しかしながら、
『生協』という組織に助けられ、支え
られていることを実感できる年でも
ありました。

この仕事に、職場に出会えて良
かったと思ひ続けられるよう、でき
ることを模索し続けます。何事にも、
思いやりを持ち、誠実に向き合う事
業所、やさしくて強い「ひまわり」を
目指します。

ふくし生協の存在意義をさらに発揮

(北九州統括事業部)

部長 松本憲一

2018年は、情勢の変化に備えて「ふくし生協の宅老所ケア」の枠組みづくりをさらにすすめる一年となりました。年明け早々の1月3日にデイサービス「帆柱の家のどか」の移転オープンに始まり、続いて「生協ホームほばしら」のいえを開設することができました。ひとえに運営委員さんを中心とする組合員と職員の参加と協力の賜物と感謝いたします。2019年も引き続き組合員さんとの協同をすすめて北九州地域におけるふくし生協の存在意義をさらに発揮したいと思っています。

ふくし生協の「目指すもの」を忘れず！

(水巻事業所)

所長 藤田眞弓

新年あけましておめでとうござい
ます。
厳しい年の幕開けです。私たち自
身の真価を問い、問われる一年にな
るのかな…と思います。

今こそふくし生協が掲げる「目指
すもの」を忘れず、道に迷ったら頼り
にしていきたいと思います。
各事業所の働く仲間の皆さんのご
健康とご多幸をお祈りします。
今後も共に頑張ります。

理念を中心に据えて頑張ります

(直方事業所)

所長 田代直世

事業所ができて18年、唐ヶ崎、夏峰の地を経て現在の山部に引っ越ししてきて5年が経ちます。さまざまな分岐点を通り、順調とばかりではありませんでした。本部や所長の絵空事ととらえられることもありましたが、今は常勤9人、非常勤40数人の事業所に発展し部門は5部門、あらたなシェアハウスへの展望を持っています。利用者、働く人に温かい、なじみの人と暮らす(働く)終いの棲家を理念の中心に据えて組合員さん、運営委員さんと職員が共に目標に向かう一年となることでしょう。今年もよろしく願います。

みんなが明るい1年になりますように

(嘉飯事業所)

所長 吉野道利

デイサービスにぎわい荘、ヘルパー
ステーションいきいき、有料老人ホームひやくさいハウス大橋、デイサービスあいあい。職員24名、ひやくさいハウス利用者13名で事業所の12年目を迎えることができました。

二人目のお母さんになった職員が
育休を終え12月に職場に復帰しまし
た。ひやくさいハウスの利用者Oさん
は今年104歳を迎えます。赤ちゃんから
百寿まで、みんなが明るい1年にな
りますように。

今年は健康で明るい年に！

(宗像事業所)

所長 高田朋之

2019年となりました。本年も
よろしく願ひ致します。昨年の宗
像事業所さくらデイサービス日の里
は利用者様のご病気などが相次ぎ、
とても、暗い年となりました。お顔
染みがデイサービスにお越しでない
事が、とても寂しくてデイ自体がと
てもしんどい、と、痛感する年
でした。本年は、御利用者様、御家族
様、組合員様、職員家族の皆様そし
て、職員が皆、健康で明るい年とな
ります様に、また、ふくし生協の皆様
の健康とご多幸を祈念いたします。

これからの福津事業所

(福津事業所)

所長 坂口佐代美

新春を迎え、昨年六月更新を終え
七年目をスタートしています。

三六五日24時間での宅老所ケアも
近郊のケアマネジャー様、訪問医療
の連携もあり、ご利用者様一人一人
のニーズに合わせた介護を行う事が
出来る事業所となっています。介護
職員の思いをこめ、手間をかけた介
護の力がご利用のご家族にもしっか
り伝わり「たんぼばさんで良かった」
と声を頂き、今後の福津事業所を考
える年になっているのではないかと
感じています。

詩集

二〇一九年(平成31年) 謹賀新年

新年

地域の皆様方の声援に応えるために

(ぬくもり・給食 事業所)

所長 清水京子

明けましておめでとうございます。

今年度「ぬくもり」は、ふくし生協同様、開所20周年を迎えます。そして大勢の組合員さんに支えて頂いていることに感謝いたします。

給食センターも、ふくし生協の仲間になるを含め半世紀の長い期間地域の方に支えて頂いてきました。

今年は消費税増税で給食はさらに厳しい状況が予測されますが、ぬくもりと共に地域の皆様の声援にお応えできる事業所である為、職員一同頑張っています。

地域との連携を目指した交流を進める年に

(青葉事業所)

管理者 後藤淳一

明けましておめでとうございます。昨年は職員不足が起りましたが、皆で力を合わせ、のり切ることができました。そのことで職員同士の結びつきがより一層深まったと感じることができた年になったように思います。

今年度は運営推進会議や地域サロン等で、少しずつ見えてきた地域の悩みや課題に介護事業所としてどう関わっていくのか、また近隣の介護事業所とどんな連携ができるのかを考える交流など、地域連携を具現化できるように進めていける1年にしたいと思います。

更なる前進を目指して！

(東事業所)

所長 畑山伸夫

新年あけましておめでとうございます。

まずは無事に新しい年を皆様と迎えることができ、心から感謝とお礼を申し上げます。2018年は「みんなで」をテーマに事業所全体で収支の改善、運営の取り組みを進めてきました。大きな成果を出す事は出来ていませんが、少しずつ着実に前進は出来ていると思います。

2019年はこの成果を更に上積み出来る様に、事業所一丸となって頑張っていきたいと考えています。本年も宜しくお願い致します。

質の高い介護を目指して！

(西南事業所)

所長 梅野信子

新年明けましておめでとうございます。

昨年5月に「生協ホーム西南」を、新築オープンすることが出来ました。

ご利用者様には、喜んで頂き新規ご利用様の問い合わせも来ております。

また西南事業所3部門で、地域に根差した介護事業所を目指し地域に貢献できるよう職員一同一丸となって、頑張っています。何より利用者に寄り添った質の高い介護を提供できるように、日々精進してまいります。

アットホームな事業所目指して

(ミナミ事業所)

副所長 矢野昌子

昨年は、部門間の協力で経営剰余を出すことはできましたが、各部門の予算達成には至りませんでした。今年度は生協創立20周年記念の節目の年でもあります。

ミナミでは立ち上げからのベテランスタッフも数多くおられますので、若い方々の協力を頂きながら人員体制を確保し、連携を密にして、経営剰余確保して年間予算も達成できる様に頑張っていきたいと思っています。そして、ミナミ伝統のアットホームな事業所作りを目指したいと決意も新たにしているところです。

理念掲げて前進できる年に！

(久留米事業所)

所長 萩尾光則

11月に開催した2回目のふくし生協こくぶの杜祭りには地域住民の方々が約150人來られました。御近所の方々も多く、以前から気になっていましたと小規模多機能の見学・体験もありました。

運営推進会議でも要請されているように「地域のよりどころとなる拠点」になれるようにしていきたいと思っています。訪問介護(ヘルパーステーション)は障害分野の利用の要望が相次いでいます。職員の人員を確保し介護力を高めて要望に応えていきます。地域に開かれた事業所、地域からの相談窓口の役割を新年度はさらに果たせたいけるように職員一同、目標・理念をひとつに前進できる年にしていきます。

新年のごあいさつ

(福岡統括事業部)

管理者 伊岐圭代

▼何れ我が身。担当している利用者様が穏やかに笑顔で生活できるよう努力します。(松村)▼体調・精神的にも健康に過ごし笑顔で利用者様に対応していきたい。趣味もみつきたい。(重永)▼研修に参加し知識を深めたい。

体調と健康に注意しながら仕事をしたい。(麦野)▼医療や精神分野の知識を広め、どんな事例にも対応できる様なスキルアップを図りたい。(樋口)▼スキルアップを目指し学んだ知識を生かし、利用者様がご本人らしく暮らせる様支援してまいります(伊岐)

豊かな居場所を目指して

(直方市学童保育支援センター)

事務局主任 藤廣麻弓

直方市学童保育支援センターの2019年は、4度目の学童クラブの事業者選定がおこなわれる年になります。年々増加する利用児童数と学童クラブの箇所数に伴う職員不足など、課題は山積みですが、これまで4年間、積み重ねてきたことの再確認をおこない、子どもたちの放課後の居場所がより豊かな場所となるように、「子どもの権利条約」を拠り所として、保護者・支援員、そして地域と共に子育てをしていける環境作りをすすめていきたいと思います。

支部・事業所だより

ミナミフェスタ
青空のもと
90人が楽しむ



10月28日(日) 昨年に続き二回目となった「ミナミフェスタ」が開催されました。

当日は天候にも恵まれ快晴の中、利用者さんや職員、そして多くの地域の方々等約90人の参加がありました。デイサービス内では「夢エンタークラブ」の皆さんの素敵な出し物があり、利用者さんらの笑顔が溢れていました。また、今回は打ちたてのソバがふるまわれ舌鼓を打たれる姿が印象的でした。

(取材・世利)

第3回ほばしらまつり 400名参加大盛況



11月4日(日) 第3回ほばしらまつりが開催されました。
当日は秋空の快晴の中、約400名の地域の方々が続々と来場、会場はたちまち満席でいっぱいです。
今回は事業所内にて演目ステージが設置され、様々な出し物が披露されました。中でもひととき大きな歓声を集めたのは中国の伝統芸能である変面ショーでした。一瞬で仮面が次々に変わっていく度に観客席からは大きな歓声が沸き立っていました。その他にも、様々なステージ企画が実演されました。また、当日は



素敵な景品が当たる抽選会が開催され、一等のマッサージクッションの他、様々な景品に観客は一喜一憂、最後は恒例の餅まきで盛況のうちに終了しました。

(取材・世利)

ハローデイグループより 車イス20台の贈呈を受ける

11月1日、2日に宗像ユリックス会場にて、山口から熊本まで幅広い地域で事業展開をされている「ハローデイグループ」さんの記念イベントが開催され、その中でふくし生協への車イス贈呈式が執り行われました。ハローデイさんでは18年前から空き缶のプルトップを収集し、車イスに交換して様々な団体へ贈呈する地域への社会貢献活動を実施しており、今回ふくし生協へ20台の贈呈が決まりました。栄えある第100号の贈呈となりました。

当日は本部事務局より森元常務、花田次長、末光職員、宗像事業所の高田所長が参加されました。謝辞の中でふくし生協のゆいサポートでの買い物支援などの取り組みが紹介され、地域の困りごとを連携して支える活動について連帯を呼びかけました。ハローデイグループさんの益々の発展・ご活躍を祈念いたします。



(取材・世利)

第28回(ミナミ事業所) グラウンドゴルフ大会開催

11月8日(木) 9時、南区皿山中央公園に8チームが集結。ミナミ事業所の年中行事の一つ「グラウンドゴルフ大会」が開催されました。この日、雨の心配のない曇天日和。大会は、団体戦と個人戦で8ホール2ゲームトータルで競いました。熱戦の結果、団体戦一位は柏陽会チーム、二位屋形原3区チーム、三位親球会チーム。我がミナミチームは今回も8位最下位でした。個人戦では一位中村氏(84才)、二位杉谷氏(79才)、三位坂巻さん(79才)の順でした。この競技は14年前から開催され、来年秋には15年の第30回記念大会となり、今から期待されています。

(取材・長谷)



久留米・こくぶの杜
まつりに140名参加

11月11日(日)久留米市の小規模多機能こくぶの杜まつりが開催され、当日は利用者さんやそのご家族、地域の方々140名を超える来場となりました。秋たけなわの快晴の中、様々な演目が披露されました。中でも元自衛官の方が地域の青年団と一緒に結成した久留米エイサー青年会によるエイサーの披露では力強い太鼓の音と共に、観客の皆さんも一体となって盛り上がりました。会場には焼きソバや焼肉コーナーもあり、子供から大人まで大いに昼食を満喫しました。最後は全員でビンゴゲーム、読みあげられた番号に歓声が上がり大盛況のうちに終了しました。

(取材・世利)



ぬくもり文化祭開催
思い出話に花が咲きました!

11月10日(土)JR原町駅構内の原町コミュニティホールにて「ぬくもり事業所文化祭」が開催されました。当日はぬくもりデイの利用者さんや地域の利用者さん、駅の利用者さん等100名を超える方々が来場。会場にはデイ利用者さんの様々な作品が展示され、来場者の皆さんは興味深く鑑賞されていました。この他、サロンにて活動されている小物作りの販売やぜんざい、コーヒーマシーンが振舞われ賑わいを見せました。今回、これまでの活動を記録したスライドショーのTVモニターの懐かしい写真や映像に皆さん方の思い出話に花が咲いていました。

(取材・世利)



東事業所
地域交流会開催

11月25日(日)東事業所にて、地域交流会が開催されました。この交流会は、利用者の皆さんや地域の方々との交流の場を提供し、東事業所をもっと知っていただくために本年度のブロック別フェスタの一環として開催されたものです。東事業所のデイ「もやいの家」、「第2もやいの家」のそれぞれに会場が設置され、参加者の皆さんには2つの通所をスタンプラリーで回っていただきました。2つの通所にてそれぞれの出店や室内での催しがおこなわれました。当日は地域の若者も含めて70名以上の来場となり、賑やかな交流会となりました。

(取材・世利)



西南「柿狩りツアー」
うきは市へ23名が参加

11月25日(日)西南事業所による秋の柿狩りが実施されました。今回は昨年の豪雨による大きな被害を受けた日田・朝倉に近いうきは市へ、事業所から23名の参加で訪ねました。まず耳納連山の麓にある中島農園にて柿狩りを楽しみました。コブシ大の甘柿と農園からの素晴らしい景色を堪能、皆さん驚かされていました。次に、豆腐屋を改装した「お食事処うきは」へ移動、昼食となりました。美味しい料理とお酒に話も弾んでいました。その後、道の駅「にじ耳納の里」で楽しいお買物タイム。楽しい秋の一日でした。

(取材・世利)

本部事務局だより

第6回介護実践研修会開催 (西日本ブロックから113名参加)

11月18日(日)
第6回となります
介護実践研修会が
福岡国際会議場4
階会議室にて開か
れました。
当日は県内各事
業所より77名が参
加しました。また
今回は、前日の11
月17日(土)に北
九州にて開催され
た「日本高齢者生
活協同組合連合会
第2回西日本ブ
ロック会議」二日
目の研修として西
日本地域の各高齢
協から36名が合流
参加され、合計113
名の参加となりました。

【午前の部】



午前の部の研修
では、宅老所ケア
の実践事例報告が
おこなわれました。
各事業所から9
名の発表者が次々
に登壇し、宅老所
ケアの実践
事例が分野
ごとに報告
され、現場での試行錯誤によって得
られた知識や貴重な経験の共有をお
こなうことが出来ました。
次に「2018モデル」から
「2021モデルへ」というテー
マのもと、パネルディスカッション
がおこなわれました。コーディネー
ターに稲月専務を迎え、5名のパネ
ラーに登壇いただき、大阪高齢協・
岩浅氏、愛知高齢協・藤井氏、けい
ちく・鬼松氏、北九州統括・山田
氏、直方・田代氏によるそれぞれの
取り組み事
例の報告が
なされまし
た。中でも
大阪と愛知
の取り組み
事例は参考
になり、こ
れからの私
たちの方向
性として地
域のニーズ
に対応し、
総合的・複
合的に「助



【午後の部】

「け合う」事の出来る地域づくりを推
進していくべきである…との提起が
なされました。
午後の部からは映画上映会を開催
し、映画「ケアニン」あなたでよ
かった」を上映しました。
参加者の年齢層は20代前半から70
代の職員までと幅広い方々に鑑賞し
ていただきました。それぞれに感情
移入する場面は違ったとは思いますが、
今までの映画では表現されるこ
とのなかった「介護の現実」が詰
まったこの作品に自らの体験を重ね
て、「大変良かった」との感想を数
多くいただきました。
今回の研修で得た知識や経験を各
事業所全体で共有し、ケアの質を上
げていくことを期待します。
(取材・世利)

読者の声

▼毎回、拝読致しております。社
会福祉向上の為、皆様方がお仕事に
一層励まれます様お願い申し上げます。

(福岡市南区・丸山 玉枝)

▼とてもわかりやすく面白いマ
ンガ前号5頁「※あの人たち」です
が末恐ろしいものがありますね！ま

新年賀詞

創立20周年、おめでとうございます
今年も読者参加型の誌面作り及び内
容の充実に努めてまいります。

当生協の「ひやくさい」は読者あつて
の広報誌です。皆様
方のご協力・ご支援
をよろしくお願い申し
上げます。
(広報委員会)



さに「介護の沙汰も金次第」という
気がします。悲しいかな、私もその
中の一人みたい。次回が楽しみです。
私事ですが、最近還暦を迎えて念
願だった「250回目の献血」をお蔭様
で誕生日当日に達成することが出来
て、健康に感謝！嬉しい限りです。
これからも日ごと寒さも増して来ま
すので皆様方、風邪等めされません
ようご自愛の程、ご祈念申し上げます。

(福岡市東区・岡村美智子)

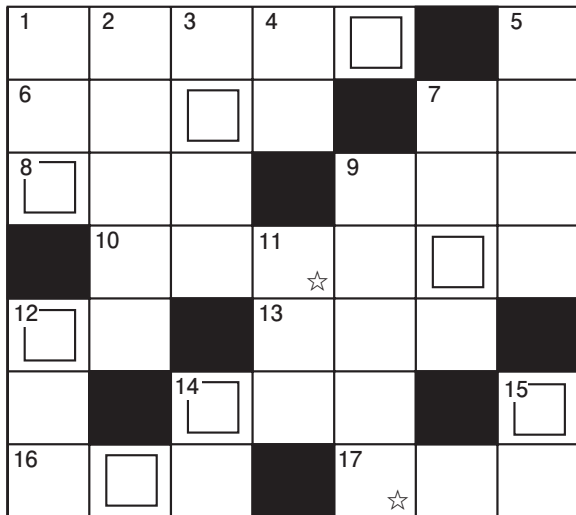
▼毎回みなさんの「読者の声」を
読むのが楽しみです。

(宗像市・村井 宏樹)

▼シリーズ「人生の高齢期を考え
る」を読んで、毎回、身にせまる思
いです。そして、とても考えさせら
れています。

(飯塚市・富田 純子)

クロスワードパズル



45

▼タテ、ヨコの《カギ》に従ってマス目に言葉を入れてください。ただし、右下隅に☆のあるマスには漢字が入ります。タテ、ヨコで漢字の読みは違っていても、すべてのマスを埋め終わったら、二重マスの中の文字を並べ替えて、《ヒント》にふさわしい言葉を作ってください。それが答えです。

《タテのカギ》

- 1 意味には関係なく読み方で表記
- 2 何度も同じことを
- 3 企業に所属して働いている人
- 4 前もって推測すること。～せぬ出

来事

- 5 水面に漂っている植物
- 7 財産などを他人に与えること
- 9 ルールを破っています
- 11 差があること。意見の～
- 12 重要であること。～な点
- 14 キログラムは～
- 15 サイやシカの頭にある突起

《ヒント》寒い日の必需品です。

《ヨコのカギ》

- 1 動きのこと。～映画
- 6 魚や鶏の調理法でしたが、最近ではハンバーグなどにも～ソース
- 7 シーズン。行楽の～
- 8 連続ドラマは～が待ち遠しい
- 9 囲碁や将棋の勝負を数える言葉
- 10 電化製品のリモコン、何をする道具？
- 12 煮物はこれが決め手
- 13 指揮者が振るのは？
- 14 神社の参道入り口に立っています
- 16 世の中を騒がすニュース。取材するのは～記者
- 17 和服の1着分の布地

■前回の答えは「つるべ落とし」でした。正解者多数につき、抽選で次の5人の方々にQUOカードを送りました。

◆九十四号クロスワードパズル当選者

- ・中西 紘二さん(福岡市南区)
- ・原 晴江さん(福岡市南区)
- ・日下部恭久さん(福岡市東区)
- ・豊田 歩さん(八幡東区)
- ・江上 淑子さん(水巻町)

完成した言葉と「ひやくさい」の感想などをはがきに書いて、「ふくし生協・広報委員会クロスワードパズル係」まで2月15日必着。正解者の中から抽選で5人にQUO(クオ)カードを送ります。

▼先号シリーズNo.38「高齢者に活躍の場を！」を興味深く拝読しました。年金の資源不足を考えると、元気なうちは働いた方がいいのかも知れません。

(粕屋町・合屋美智子)

▼九十歳になる母から「相手の気持ちを思いやる人にならなさい」と言われながら育った。昨今、この気持ちを育てる大事さを通感し、孫達にも折りにふれて教えていきたい。

(北九州市八幡東区・豊田 歩)

▼シリーズ「人生の高齢期を考えるNo.38」年金支給が近未来は70歳支給法

案を出してくるでしょう(ロシアでは)、これと同じことを日本も進めようとしている。今から先、老後の生活がいよいよ厳しくなりますね。

(福岡市西区・定松フサ子)

▼11月3日憲法公布記念日に「九条改憲NO」の集会を開催したところこれまでにない、いろんな団体や労組やグループの旗が目につきましたが、その中に「ふくし生協の旗」が見えたので、主催者として感動しました。「戦争へすすむ九条改憲は絶対にダメです。これは子や孫に引継がなければな

りません。これまで以上に力を尽したいと思います。また94号のマンガは非常にいいですね。漫画の戦後史を勉強しています。白土三平(カムイ伝)と手塚治虫(鉄腕アトム)と福井英一(イガグリくん)と日本国憲法がテーマです。

(福岡市東区・日下部恭久)

▼ちよつと早過ぎるお年賀状を今年も300枚、様々の表情の「イノシちゃん」を描きました。とにかく、とにかく、ウリ坊にオッパイ飲ませてい

照)のようにデーンと構えて生きていきましようよ！
楽しい「ひやくさい」一年間ありがとうございました。

(遠賀郡水巻町・江上 淑子)

▼11月よりミナミで働いています新米ヘルパーです。介護保険の言葉は知っていましたが、その変化と内容については知りませんでした。もっと勉強なくては…と身につまされました。とても分かり易く新聞にもこの様な説明があればと思います。

(福岡市南区・原 晴江)

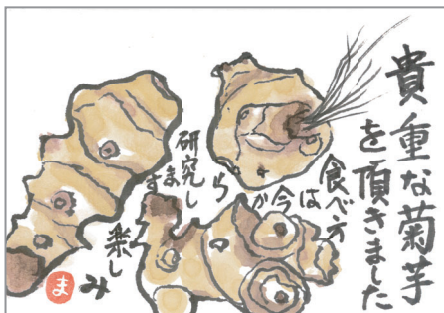


▲ほのぼの消しゴム版画作品
(版:加治美千代 字:鶴田輝子)



▲益田ハルカ(水巻町)

ご投稿ありがとうございます。



▲坂元雅子(水巻町)



▲池本百合子(水巻町)



▲山田安子(水巻町)



▲永田ヒロ子(水巻町)



▲吉住智江(水巻町)



▲江上淑子(水巻町)

みなし自由脱退に関する公告

2016年1月1日から同年12月31日までで現在所在不明となっている組合員の方は現在全県において180名となっております。2016年度不明者に関して引き続き不明で2019年2月末までにお申し出のない方は、定款第10条およびみなし自由脱退に関する規則に基づき「みなし自由脱退」処理を行います。

1. みなし自由脱退対象組合員の公示
みなし自由脱退対象者リストにより各事業所の対象者を公示します。
公示期間
平成31年(2019年)1月1日から平成31年(2019年)2月28日まで
 2. 公示期間中に申出が合った場合はみなし脱退対象組合員から除外します。
期間中までに申出がない場合は平成31年(2019年)3月31日をもって脱退手続きを行います
 3. お預かりしている出資金は預かり金とします。
手続き後2年以内にお申し出があった場合、脱退処理を取り消します。
- 以上上記の通り公示と致します。

福岡県高齢者福祉生活協同組合
理事長 吉野 高幸

※対象者リストは対象の事業所において公示されます。
お問い合わせはふくし生協本部事務局まで

投稿俳句と川柳

俳句

好(ミナミ・デイスサービス)

秋深し 淋しさつものる 一人膳
夫残し 鉢の白菊 今盛り
新米の 炊ける煙りや 香立つ

丸山玉枝(ミナミ・デイスサービス)

小春日の ホットと一息 手を休め
枯葉散る 歌いつがれて 何世紀
冬近し 心身ともに 身構える

川柳

丸山玉枝(ミナミ・デイスサービス)

秋日和 フェスタは楽し 力湧く
紅葉や 山火事のごと 見間違え
好(ミナミ・デイスサービス)

高枝の 熟した柿は 鳥の物
青空に こぼれんばかり 熟の柿
父亡くも 子ら無事育ち 七五三